

道徳通信

2019/04/21

No.1

東中筋中学校

「特別の教科 道徳」 が始まりました

今年度から、これまでの「道徳の時間」が「特別の教科 道徳（道徳科）」として実施されるようになりました。

（小学校では昨年度から実施されています。）教科になって大きく変わる点は、

- 教科書を使う
 - 評価がつく
- ということです。

教科書は、他の教科と同じく個人持ちですので、書き込みなどができるようになり、自分の考えを確かめたり深めたりすることがしやすくなりました。また、



今回採択された教科書には道徳ノートがついています。毎時間の学習の記録として、活用していきます。

また、「道徳科」の評価は、

- 数値では評価しない（記述式の評価）
- 学習状況や成長の様子についての評価であり、行為行動の評価ではない
- 他の生徒との比較ではなく、本人がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価
- 一面的な見方からより多面的・多角的な見方へと発展していったことや、道徳的価値の理解を自分自身の関わりの中で深めている、といった点を見取る
- 個々の内容項目については、大々くなまよまを踏まえた評価

○ 個人個人の人間性や道徳性についての評価ではない
○ 入試で活用したり、調査書に記載したりすることはないと定められています。本校もこれに従って、学期ごとや年間の評価をしていきます。本校では指定研究の一環とし

て、一昨年度から道徳の評価を試行してきました。昨年度までは別紙で作成していましたが、今年度からは、他の教科等と同じ紙面に記載します。

なお、道徳科については、「家庭で取り組む 高知の道徳」（昨年度、各家庭に配布されました）の「学校における道徳教育Q&A」（P20～29）にも掲載されていますので、合わせてご覧ください。



さて、東中筋中学校では、昨年度から「道徳教育推進拠点校事業」の指定を受け、研究を進めているところです。研究の中心は、道徳科の授業や評価の一層の充実と、家庭・地域との連携を図った道徳教育の充実です。この研究の内容や、道徳の授業の様子、道徳教育に関わる学校の取組や情報をお知らせする場として、道徳通信を発行していきます。

一年間、よろしく申し上げます。

道徳科の授業も始まりました



班で話し合いもします。（1年生）



自分の教科書で教材を読みます。（2年生）



自分の教科書なので書き込みができます。（1年生）



自分の考えを、道徳ノートにまとめます。（3年生）



意志表示がしっかりできています。（2年生）